

ふじのみや探検

第4号 織田信長のひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284

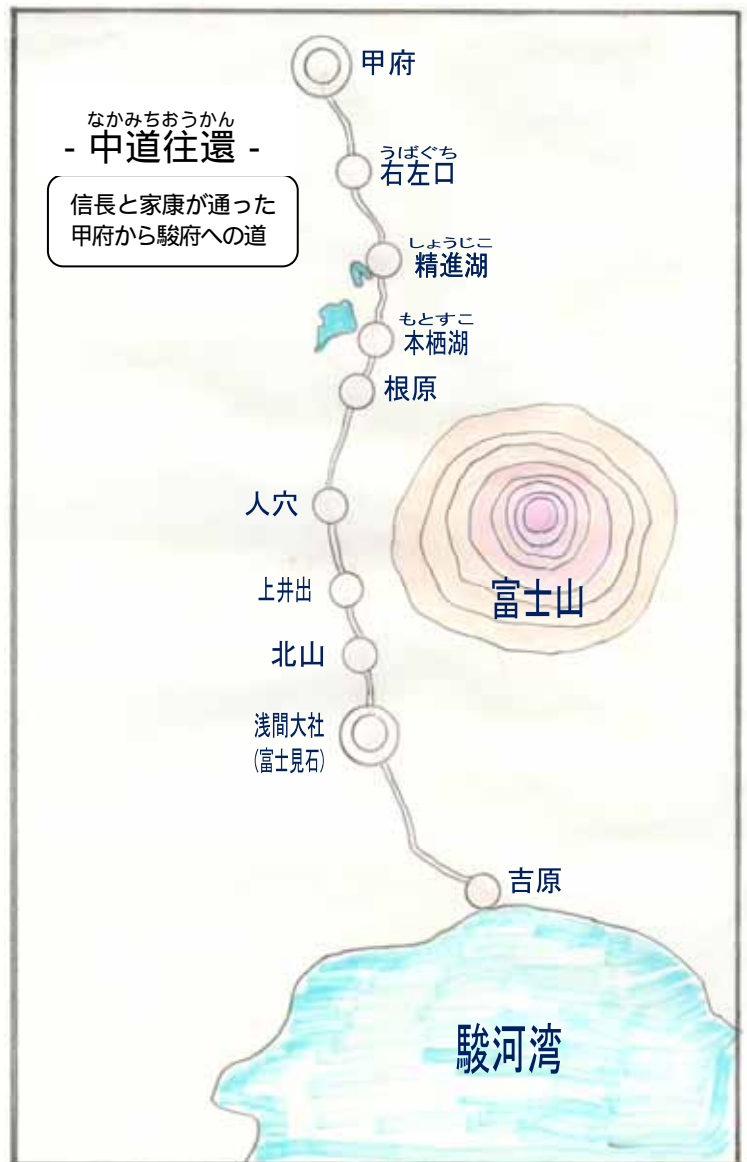
ひみつ1 富士宮と信長は、何か関係があるの？（富士見石）

富士宮市には、織田信長に関する遺跡が2つあります。1つは、富士宮市中央図書館玄関前にある、富士見石です。もう1つは、西山本門寺の首塚です。まず、富士見石についてお話ししましょう。

織田信長は、天正10年（1582）甲斐に攻め入り、天目山で勝頼を討ち、武田氏を滅ぼしました。長篠の戦いから7年後のことです。

信長は、一緒に戦った徳川家康にほうびとして、駿河の国を与えました。安土城にもどる信長は、「駿河の国を通り、富士山を眺めて帰りたい。」と、家康に告げました。信長は、4月10日に甲府をたち、精進湖・朝霧高原を通り、浅間大社についたのは、4月12日のことです。家康は道路を直したり、休憩の東屋を建てたり、心をこめて接待しました。浅間大社では、信長が泊まれるように、立派な御殿も作りました。

喜んだ信長は、近くにあった石に腰を下ろし富士山を眺めました。この石が、富士見石として今に伝わっています。日本一の富士を仰いだとき、信長は、天下をぐいと引き寄せた気持ちでしたことでしょう。いそがしい信長にとって、甲府から安土までの旅が最後のほっとしたひと時になりました。図書館に来たら、ぜひ見てください。



ことばの説明

甲斐・・・今の山梨県、甲州とよぶこともあります。

天目山・・・山梨県甲州市にある峠、勝頼が妻や子供とともに死んだ

武田勝頼・・・信玄の息子、武田氏20代目の当主

長篠の戦い・・・長篠城に攻め込んだ勝頼が、織田・徳川の連合軍に敗れた戦い

駿河・・・今の静岡県、中部と東部です。

ひみつ2

西山本門寺になぜ信長の首塚があるの？

信長は、本能寺で明智光秀の軍勢に討たれ死亡します。この時、自分から寺に火をつけたので、死体は見つかりません。豊臣秀吉は、香木で信長の像を作り、お葬式の時にこれを燃やしました。遠くからでも、いいかおりがしたことでしょう。

信長の墓は、全国にあります。西山の本門寺は、その中でも一番東にあります。言い伝えによると、原宗安が、本能寺から信長の首を運び出し、本門寺に納めました。そこに首塚を築き、ヒイラギを植えたということです。

本門寺は、大きな寺なので、昔たくさんの方がありました。その一つに本能坊があります。ちょっと、本能寺に字が似ています。本能坊と書かれた石碑が本当のことを知っているかもしれません。

ことばの説明

本能寺・・・京都にある法華宗の寺。信長は、京都に城は築かずにここに泊まるが多かった。

明智光秀・・・信長の家来。足利義昭を信長に紹介した。丹波の国をもらい、武田勝頼を滅ぼす戦いにも参加した。

豊臣秀吉・・・農民出身。信長に仕え、足軽から出世してついには天下を取った。

坊・・・お坊さんの住むところ

石碑・・・石に文を刻んだもの



本能坊の石碑

ひみつ3

信長は、どんなことをやったの？

信長は、室町時代の終わり頃、尾張に生まれました。その頃は、日本中が小さな国に分かれ、お互いに戦っていました。室町幕府に力がなくなって、日本を一つにまとめることができなくなったからです。18才で織田家を継いだ信長は、49才でなくなるまで122回戦っています。戦績は、78勝27敗17分けです。戦い続きの人生ですね。

桶狭間の戦いで、今川義元を破ると、徳川家康と同盟を結び、美濃を攻めて、これを手に入れます。経済の発達していた尾張と、兵の強い美濃を手に入れたことで、信長の天下取りが現実のものとなってきます。

「天下布武」の判を書状におしたのもこの頃です。鉄砲隊を組織したり、新しく広い道路を作ったり、関所を廃止したりして、新しい日本の形を作りました。

信長は、室町幕府を滅ぼし、近世のとびらを大きく広げました。

信長年表

年	できごと
1534年 (天文3年)	織田信長、なごや城でうまれる。
1560年 (永禄3年)	桶狭間の戦いで今川義元を破る。
1568年 (永禄11年)	足利義昭と共に京都に攻め上がり、義昭を征夷大將軍にする。
1570年 (元龜3年)	姉川の戦いで浅井・朝倉の連合軍を破る。
1573年 (元龜4年)	足利義昭を追放し、室町幕府を滅ぼす。
1575年 (天正3年)	長篠の戦いで、鉄砲3000丁を用い、武田勝頼を破る。
1575年 (天正4年)	近江に安土城を築き始める。
1582年 (天正10年)	富士見石に腰かけて、富士山を眺める。
	本能寺の変で、明智光秀に討たれる。

ひみつ4

信長の安土城が、天主閣のはじめなの!?

そうです。今日見られる本格的な五重以上の天主の最初のものが、安土城です。信長は、長篠の戦いに勝利した次の年、琵琶湖の南東に安土城を築き始めます。安土城は、富士宮市と夫婦都市を結んだ近江八幡市にあります。

岐阜城からより京都に近い安土山に築城を開始してわずか1ヵ月半で、信長は、安土に移り住みました。家来たちは、あわてて城下町の整備に取りかかりました。近くのお寺や城をこわして組み立てなおしたり、石段にはお地蔵さまを持ってきてならべたり大変なさわぎになりました。それでも、安土城が完成するのに3年かかりました。

御所のある京都まで半日、最大の敵、上杉謙信の越後にも近くなりました。

信長は、ある日、じまんの安土城をみんなに見せようと「100文持ってくればだれでも中に入ってよい。」といったので、大勢の武士や農民たちが見物に訪れました。今だと、ディズニーランドですね。

ことばの説明

天主閣・・・信長は、実際に天主閣に住みました。

琵琶湖が見え、とつてもながめが良かったでしょう。信長以後の天主閣は、字がちがいますし、この様は、不便なので、近くに御殿を建てて、そこで暮らしました。

100文・・・今のお金にすると、2500円ぐらいです。



復元 安土城・天主閣

まめ知識

蘭奢待ってなに？

香木です。みなさんの家に、仏壇がありますか？ここでは、おうちの人が線香をたきますね。線香は、火をつけると香りのあるけむりがでます。それに対して香木は、木を燃やし、その香りをかくものです。昔の人は、その香りを着物に移したり2つ以上の香りをかぎ比べたりして楽しみました。香木の中で、日本一のものが、「蘭奢待」です。長さは156cm、重さ11、6kgで、東大寺の正倉院の宝庫にあり、国宝になっています。その香りをかいた昔の人は、「古めきしずか」といいました。一度かいでみたいものです。

足利義満、足利義政、明治天皇なども切り取っています。

信長は、1574年(天正2)3月に東大寺に行き、一寸八分(約5、5cm)を切り取りました。「蘭奢待」には、東大寺の字が入っています。天皇の許しを得て切ったとはいえ、信長の権力の大きさがわかる、お話ですね。

ことばの説明

東大寺・・・聖武天皇が、奈良に建てたお寺。「東大寺の大仏」で知られている

正倉院・・・東大寺にあり、聖武天皇が使っていた品物を納めている倉庫

足利義満・・・室町幕府第三代将軍、京都の北山に金閣寺を立てた。

足利義政・・・室町幕府第八代将軍、京都の東山に銀閣寺を立てた。



蘭奢待



信長がこしかけた富士見石



天下布武の印



安土城・大手門の石段



復元 天主閣上部

『第4号・織田信長のひみつ』は、次の資料をもとに作りました。

- 1 『ふるさと再発見3 駿州中道往還を歩く』 沢田正彦 / 岳南朝日
- 2 『甲州往還』 渡井正二 / 岳南朝日
- 3 『富士宮歴史散歩』 遠藤秀男 / 緑星社 1980
- 4 『大宮町勢一覧 - 付岳麓史蹟及名勝』 大宮町協賛会 / 大宮活版所 1935
- 5 『富士山麓に埋められた信長の首』 安部龍太郎 / 歴史街道 2000
- 6 『真説本能寺の変』 安部龍太郎 / 集英社 2002
- 7 『日本史』 ルイス・フロイス / 東洋文庫 1987
- 8 『信長公記』 太田牛一 / 新人物往来社 1992
- 9 『富士山 聖と美の山』 上垣外憲一 / 中央公論新社 1982
- 10 『芝川町勢一覧 この町が好き芝川』 芝川町役場 / 北辰図書出版 1989

